

助手  
梅本 紗佑里

## ■ 学歴

---

1. 2011年 産業医科大学 産業保健学部 看護学科 卒業

## ■ 学位

---

1. 2011年 学士(産業医科大学)

## ■ 研究分野

---

1. 急性期・回復期における看護技術教育
- 2.
- 3.

## ■ 研究キーワード

---

- 1.
- 2.
- 3.

## ■ 研究課題

---

- 1.
- 2.

## ■ 担当授業科目

---

1. 成人看護学演習（前期 看護学科）必修
2. クリティカルケア看護学（前期 看護学科）選択
3. 基礎看護学実習Ⅱ（後期 看護学科）必修
4. 成人急性期看護学実習（後期 看護学科）必修
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

---

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p><b>授業科目名【成人看護学演習】</b></p> <p>看護過程の演習では、グループワーク中の学生の様子をよく観察し、発言や行動から理解の程度を把握するように努めた。理解ができていない学生に対しては、内容をかみ砕き具体的な例をあげながら説明を追加したり、提出された課題の内容をすべて確認しアドバイスをしたり、学生一人一人の理解が深まるように工夫した。</p> <p>看護技術演習では、デモンストレーションの実施や作成した動画を用いて、視覚的に学生が理解しやすいように指導を行った。医療材料などの物品はできる限り実際に使用されているものを使用しリアリティが感じられるように工夫した。また、空きコマや放課後に実習室で自己練習ができるように環境を整え、適宜指導を行い、学生の知識・技術の向上ができるよう努めた。</p>
2.	<p><b>授業科目名【クリティカルケア看護学】</b></p> <p>人工呼吸管理中である患者や家族の特徴やケア、集中治療が必要なときに治療の意思決定をする際の心理面やまわりの環境についてなど、ICU勤務での経験を活かして実際の現場での動きや患者や家族の様子などを伝え、学生がイメージしやすいように関わった。</p> <p>技術演習では、実際に使用されている人工呼吸器や高流量酸素療法の装着体験や体位ドレナージの体験を行ってもらった。疑似体験を通して頭だけでなく身体でも理解できるようにし、患者の気持ちを推し量る力や予測する力や想像力を養ってもらえるように関わった。</p>
3.	<p><b>授業科目名【基礎看護学実習Ⅱ】</b></p> <p>学生が、実習という限られた時間のなかで、前期に学修した看護過程論を実際の受け持ち患者で展開できるように支援した。患者の生活上のニーズを満たすための援助を導くこと、援助の実践が円滑にできるように学生とともに考え、実践する際は、学生が安全に安楽に実施できるように見守り、支援した。また、その場面を学生と一緒に振り返り、知識や技術、思考過程が定着できるように関わった。</p>
4.	<p><b>授業科目名【成人急性期看護学実習】</b></p> <p>学生が実習という限られた時間のなかで、看護過程の展開・看護技術の実践ができるように、実習指導者と調整・相談などのコミュニケーションを常にとり、学生を支援した。また、疾患・病態の理解やアセスメントが不足している学生に対しては、よりわかりやすいようにヒントや具体例をあげたり、内容をかみ砕いて説明を追加したりして、急性期のはやい展開についてこられるよう支援した。学生の個別性に合わせて支援の内容を変えたり、フィードバックを一緒に行ったりすることで、学生一人一人の学びが深まるように、少しでも「看護ってたのしい」と思ってもらえるように工夫した</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2011年	日本看護協会	
2.	2017年	日本循環器看護学会	
3.			

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

発行又は	著書、学術論	単著・	発行所、発表雑誌	概要

	発表の年月	文等の名称	共著の別	誌等又は発表学会等の名称	
(著書)					
1.					
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

## ■ 社会における活動

任 期	団体・委員会等の名称	役 職 名 等

	期 間 等	(内 容)	
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024年4月～現在に至る	後援会学校委員	
2.			
3.			